

地域県土警察常任委員会資料

(令和 8 年 1 月 21 日)

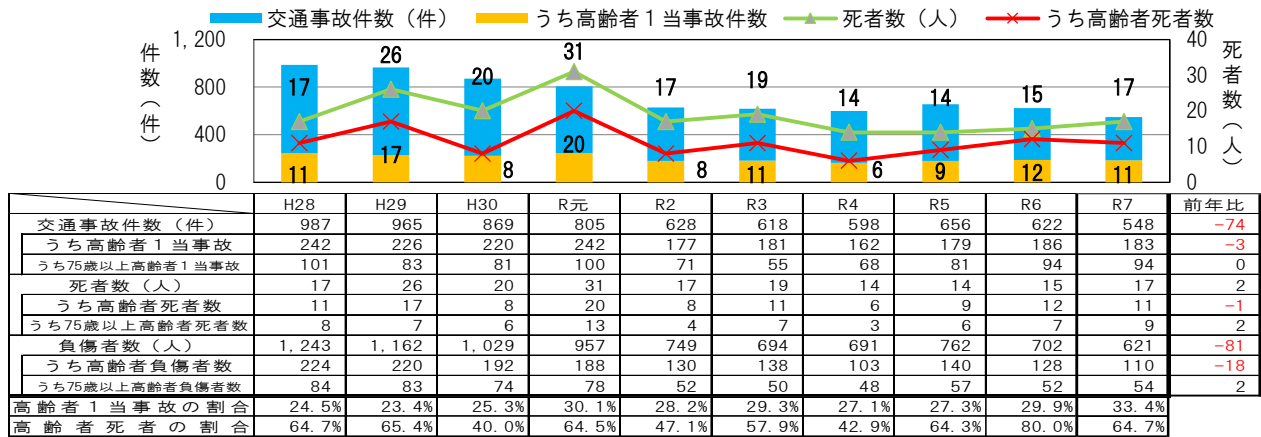
- 令和 7 年中の交通事故発生状況について…………… 2
(交通部交通企画課)

警 察 本 部

令和7年中の交通事故発生状況について

令和8年1月21日
警察本部
(交通部交通企画課)

1 交通事故発生状況（10年間の推移）

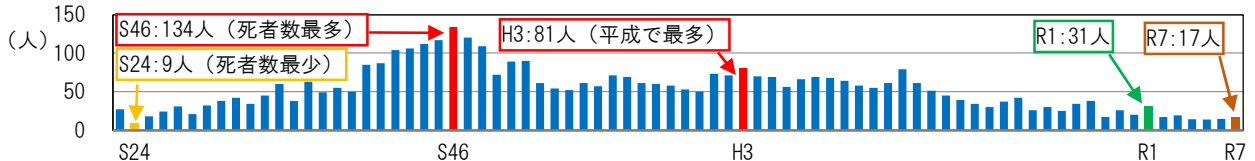


【令和7年の特徴】

- 死者数は17人で、前年の15人より2人増加
- 高齢者の死者数は11人（構成率64.7%）で、前年より1人減少
- 高齢者1当事故は183件（構成率33.4%）で平成28年以降最も高率
- 発生件数及び負傷者数は2年連続で減少し、発生件数は令和4年以来となる500件台

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 死者数の推移



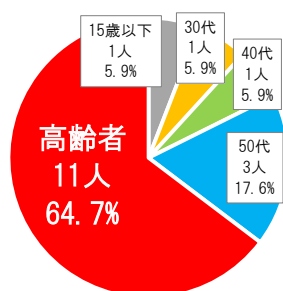
- 令和元年の31人以降、令和2年（17人）から6年連続して20人以下
- 令和7年の17人は、死者数が最多であった昭和46年（134人）の12.5%

(2) 月別死者数

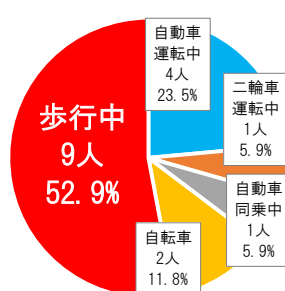


- 上半期は7人（前年比3人増加）、下半期は10人（前年比1人減少）と下半期に多発

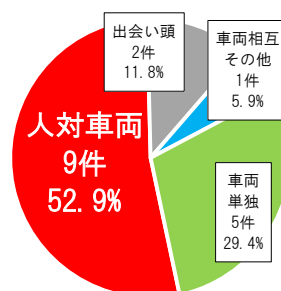
(3) 年齢別死者数



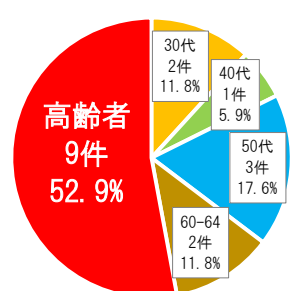
(4) 状態別死者数



(5) 事故類型別件数



(6) 1当の年齢別件数



- 年齢別死者数：65歳以上の高齢者が11人（構成率64.7%）で最多
- 状態別死者数：歩行中が9人（構成率52.9%）で最多
- 事故類型別件数：人対車両事故が9件（構成率52.9%）で最多、うち横断中は5件
- 1当の年齢別件数：65歳以上の高齢者が9件（構成率52.9%）で最多

※ 割合（構成率等）については、単位未満で四捨五入しているため、合計が100とならない場合がある。